

資料1 第9回河川保全利用委員会審議事項の整理表

H18.3.3 第10回委員会
資料 - 1

審議事項	第9回河川保全利用委員会審議内容 (決定した事項並びに継続して検討する事項)	第9回から第10回までの検討結果	第10回河川保全利用委員会 審議内容	参考 (資料名)
1) 委員会への審査 依頼の受理	琵琶湖河川事務所より当委員会に『占用許可申請にかかる意見照会について』(平成18年1月16日付)で守山市占用案件3件(野洲川小浜河川公園、野洲川改修記念公園、野洲川川田河川公園)の審査依頼があった。委員会として、この依頼を受理し、審査を行うこととした。	-	-	-
2) 第8回委員会活動の 整理事項	「資料1 第8回河川保全利用委員会審議事項の整理表」「議事骨子整理表」の内容を確認し、委員会として承認した。	-	-	-
3) 守山市審査案件の 現地調査	守山市の3件(野洲川小浜河川公園、野洲川改修記念公園、野洲川川田河川公園)の概要説明後、現地調査を実施した。現地で占用申請者の守山市から占用施設の状況について説明を受けた。	-	-	-
4) 審査予定案件 (グライダー)の現地 調査	[現地調査を再度実施するかの判断] ・グライダーの審査依頼が行われた時点で、再度、現地調査が必要かを判断する。 審査予定案件(グライダー操縦訓練場)について、現地で占用予定者の日本学生航空連盟から占用施設選定の経緯などの説明を受けた。	-	-	-
5) 守山市審査案件の 審査の実施 ・質問・意見・要望	[全般に関する事項] ・河川環境に対して、どのように考えているか説明してほしい。 ・資料作成は、誤字をなくして正確にお願いしたい。 ・歴史的な内容も含めて話してほしい。 ・四季、自然環境の変化がわかる情報がほしい。 ・もう少し写真があると理解がしやすい。 ・どのくらいの方が、どういう風に使っているのか知りたい。 ・スポーツ施設を作っている人が会員を増やす努力をどのようにしているか。 ・利用者側がどういう風に意識しておられるか知りたい。 ・多目的広場とは何かを明確にしていきたい。 ・これまでのいきさつや、非常に強い要望がある中で、維持せざるを得ないのかを考える必要がある。 ・継続申請であるからというのは、余り考慮する必要はない。従来使っていて問題がないからというのは避けていただきたい。 ・河川管理者に、今までの利用に関して、積極的に利用したいという側と、利用してほしくない側がいるかどうか調査し、住民の意見を十分反映させてほしい。	琵琶湖河川事務所より守山市に質問・意見・要望事項を伝達し、守山市に追加資料作成を依頼した。 質問・意見・要望に対応する内容で、守山市にて追加説明資料を作成した。	守山市からの説明を受けて、野洲川小浜河川公園、野洲川改修記念公園、野洲川川田河川公園の審査を実施する。	申請者 説明資料
	[小浜河川公園] ・足元にタバコの灰が一杯であり、どういう風に管理をしているのか? [改修記念公園] ・通常の公園として大いに使った方がいいのではないかと。 ・利用申請でなく国土交通省が積極的に整備するのでもいいのかと思います。 ・位置付けの話をしないといけないんじゃないか ・難しいかもしれませんが、あの辺の河川にもともとあった植生の、木が植わっている公園の検討を。 ・生態系が途切れないかという項目がありましたけど、精査していただいて積極的に利用するという方向考えてほしい。 ・ゲートボール場の面積計算が3倍以上も広いので確認して正確に記述してほしい。 [川田河川公園] ・資料作成と現地看板と異なる点があり、できるだけ正確にお願いしたい。			
	[質問・意見・要望など] ・議会とか、地域の方の了解を得た文書は、再確認して整理してほしい。 (文書の内容が本当に正しいか、申請者自身がチェックしてほしい) ・説明に使用する地図や図面は、正確で分かりやすく作成してもらう。 ・気象データをしっかりとっておられるかどうかということ。 ・釣り人に対して考えている事項。(共存できるのか、できないのか) ・年間のうち、どれくらい飛行できるか。			
6) 審査予定案件 (グライダー)の質問・ 意見・要望など		-	-	-
7) 委員会審査表に ついて	審査表について意見を交換し、審査表の一部の記述を変更した。 ・「水質汚染」「水質汚濁」「河川流程方向」「河川縦断方向」 自然環境、生活環境の項目名、説明欄の簡単な記載を検討し、次回の委員会に審査表変更案を準備する。	審査表の記述内容の修正を行った。	修正審査表の確認を行う。	第10回 資料2
8) 委員会の今後の スケジュール	次回の委員会開催内容 第10回委員会は、占用申請者の説明をうけて、引き続き守山市3件の審査を行う。	-	第11回委員会のスケジュール確認を願いたい。	第10回 資料3
9) その他	資料の事前配布は、1週間程度を確保する形で配布する。 申請者資料は、原則2部準備する。1部は委員会開催時に庶務が準備する。なお、委員が持参するので準備不要の場合は、連絡をいただく。	-	-	-

【資料3 今後の委員会運営、審議内容について(案)】

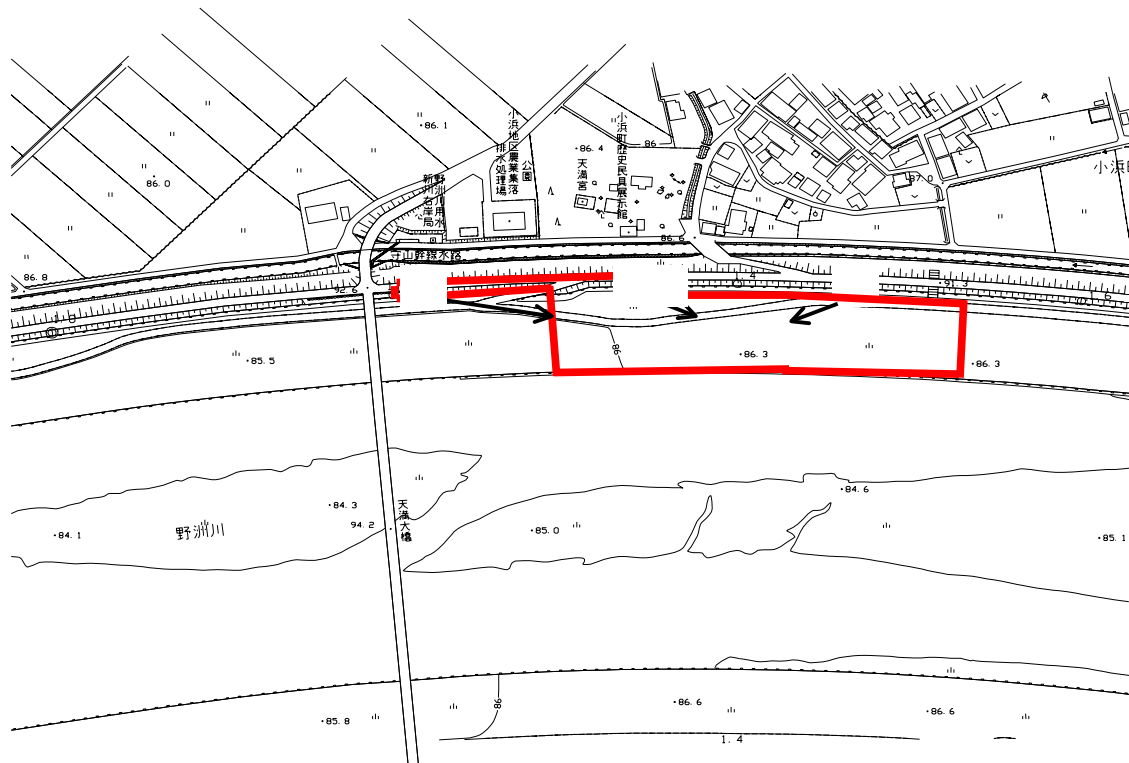
	委員会運営など全体事項	各河川の基本理念の検討	申請の諮問に対する審議	「河川利用指針(ガイドライン)」の策定	その他、河川保全に関する意見提案
第1回委員会 (H16.11.7) 実施済み	委嘱状交付	各河川の現状説明 ・バウ・ポイント説明			↑
第2回委員会 (H16.12.15) 実施済み	河川管理者からの提示 ・河川敷地占用のあらまし ・基本理念、ガイドラインについて	各河川の現状説明 現地調査に向けての説明 ・歴史・回収・利用の現状 ・自然環境			
第3回委員会 (H17.1.19) 実施済み		現地調査 現地視察、感想会			必要に応じて随時提案
第4回委員会 (H17.2.16) 実施済み		望ましい河川とは 公園事例を基にした議論			
第5回委員会 (H17.6.24) 実施済み		望ましい河川とは 新たな案件から見た議論			
第6回委員会 (H17.9.1) 実施済み		望ましい河川とは 他の河川事例から見た議論	審議の方向性検討 審議方法の検討 審査項目検討	「ガイドライン(案)」の検討 ・事前協議提出資料 ・審査のポイント	
第1回作業会 (H17.9.27) 実施済み			審査項目(案)の作成		
第7回委員会 (H17.10.14) 実施済み			審議方法の検討・確認 審議の進め方の確認 審議表(案)の審査		
第8回委員会 (H17.11.30) 実施済み			審議方法の決定 審議の進め方の審議 審議表の審議・決定		
第9回委員会 (H18.1.20) 実施済み			個別案件の審議(1) 河川管理者からの説明 審査案件の現地調査	審査項目の公表	
第10回委員会 (H18.3.3)			個別案件の審議(2) 申請者からの説明 意見書案の検討		
第11回委員会 (H18.4月下旬頃)	第12回以降の委員会開催は、第10回第11回の審議状況から開催を判断する。		個別案件の審議(3) 意見書案の検討		
第12回委員会 (H18.6月中旬頃)			個別案件の審議(4) 意見書案の検討 意見書答申		↓

【 野洲川小浜河川公園(守山市) 】

(第9回委員会資料4修正追加版)

河川名	一級河川淀川水系野洲川	場所	守山市小浜町地先
許可受け人	守山市		右岸 1.2km付近 ~ 1.5km付近
占用目的	公園	その他、参考となる事項	
占用許可(当初)	24, 26, 27条許可		
占用期間	平成16年4月1日 ~ 平成18年3月31日		
河川法許可(直近)	平成16年3月31日(改築)		
占用面積	17,268.6m ² (当初と変更なし)		
現在の施設状況		(現況写真)	
園路			
広場	多目的広場 2面		
運動施設			
休養施設	テーブル、ベンチなど		
修景施設	芝生、植栽		
便益施設			
遊具施設			
管理施設			

地形図



← : 撮影箇所

河川現況台帳付図より引用
(平成11年11月撮影)

航空写真



琵琶湖河川事務所ホームページより引用
(平成15年10月29日 ~ 平成16年4月6日撮)

【 野洲川小浜河川公園(守山市) 】

(第9回委員会資料4修正追加版)

河川名	一級河川淀川水系野洲川	場所	守山市小浜町地先
許可受け人	守山市		右岸 1.2km付近～1.5km付近
占用目的	公園	その他、参考となる事項	
占用許可(当初)	24, 26, 27条許可		
占用期間	平成16年4月1日～平成18年3月31日		
河川法許可(直近)	平成16年3月31日(改築)		
占用面積	17,268.6㎡(当初と変更なし)		

季節ごとの現地写真



2005年6月撮影



2005年11月撮影



2005年12月撮影




2006年2月撮影

【 野洲川改修記念公園(守山市) 】

(第9回委員会資料4修正追加版)

河川名	一級河川淀川水系野洲川	場所	守山市笠原町地先(野洲川南流側帯)
許可受け人	守山市		左岸 3.8km付近
占用目的	公園	その他、参考となる事項	
占用許可(当初)	24, 26, 27条許可	・施設はすべて南流側帯に位置し、高水敷にはなし。	
占用期間	平成13年4月1日～平成18年3月31日		
河川法許可(直近)	平成13年6月11日(改築)		
占用面積	23,097.01㎡(当初7,515.10㎡)		

現在の施設状況		(現況写真)
園路		
広場		
運動施設	サッカー場 1面 ゲートボール場 7面 グランドゴルフ 1面	
休養施設		
修景施設		
便益施設	トイレなど	
遊具施設		
管理施設		

地形図



← :撮影箇所

守山市より提供

航空写真



琵琶湖河川事務所ホームページより引用
(平成15年10月29日～平成16年4月6日撮)

【野洲川改修記念公園(守山市)】

(第9回委員会資料4修正追加版)

河川名	一級河川淀川水系野洲川	場所	守山市笠原町地先(野洲川南流側帯)
許可受け人	守山市		左岸 3.8km付近
占用目的	公園	その他、参考となる事項	
占用許可(当初)	24, 26, 27条許可	・施設はすべて南流側帯に位置し、高水敷にはなし。	
占用期間	平成13年4月1日～平成18年3月31日		
河川法許可(直近)	平成13年6月11日(改築)		
占用面積	23,097.01㎡(当初7,515.10㎡)		

季節ごとの現地写真



2005年8月撮影



2005年11月撮影



2005年12月撮影



2006年2月撮影

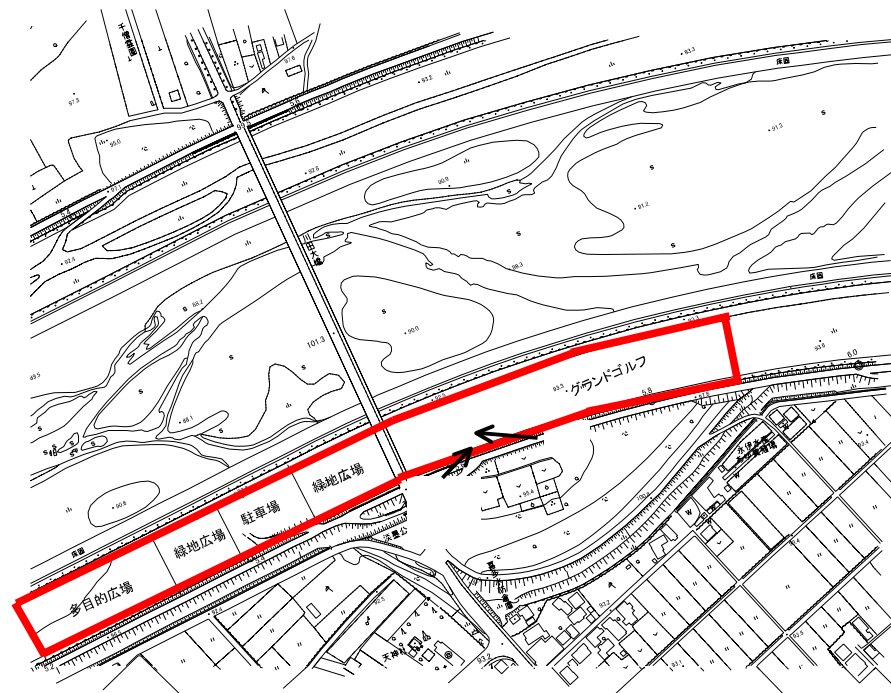
--	--

【 野洲川川田河川公園(守山市) 】

(第9回委員会資料4修正追加版)

河川名	一級河川淀川水系野洲川	場所	守山市川田町地先
許可受け人	守山市		左岸 5.3km付近 ~ 5.9km付近
占用目的	公園	その他、参考となる事項	
占用許可(当初)	24, 26, 27条許可		
占用期間	平成16年4月1日 ~ 平成18年3月31日		
河川法許可(直近)	平成16年12月21日(改築)		
占用面積	34,152.4m ² (当初と変更なし)		
現在の施設状況		(現況写真)	
園路			
広場	多目的広場 1面 緑地広場 2面 (現地看板にて確認,修正)		
運動施設	グランドゴルフ 1面		
休養施設	テーブル、イス、ベンチ、など		
修景施設	芝生、植栽		
便益施設	トイレなど		
遊具施設			
管理施設	くず入れ、吸い殻入れ、階段、坂路など		

地形図



← :撮影箇所

守山市より提供

航空写真



琵琶湖河川事務所ホームページより引用
(平成15年10月29日 ~ 平成16年4月6日撮)

【野洲川川田河川公園(守山市)】

(第9回委員会資料4修正追加版)

河川名	一級河川淀川水系野洲川	場所	守山市川田町地先
許可受け人	守山市		左岸 5.3km付近～5.9km付近
占用目的	公園	その他、参考となる事項	
占用許可(当初)	24, 26, 27条許可		
占用期間	平成16年4月1日～平成18年3月31日		
河川法許可(直近)	平成16年12月21日(改築)		
占用面積	34,152.4㎡(当初と変更なし)		

季節ごとの現地写真



2005年6月撮影



2005年8月撮影



2005年11月撮影



2006年2月撮影

--	--



河口部の中州
カンムリカイツブリ
バン、オオバン 営巣・繁殖

カンムリカイツブリ

この区間で報告されている貴重な動物 0~1.8km

<魚介類> アユ、イサザ、イトモロコ、イボカワニナ、ウツセミカジカ、オオタニシ、カネヒラ、カラスガイ、カワムツA型、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、コイ、コウライニゴイ、スゴモロコ、タテヒダカワニナ、タテボシガイ、ナマス、ニゴロブナ、ハス、ビワマス、ホンモロコ、マシジミ、モクスガモ、モツゴ、モノアラガイ

<底生動物> クロダカワニナ、コシダカヒメノガイ、ヌマエビ、マシジミ、モノアラガイ

<植物> タコノアシ

<鳥類> アカアシシギ、アカツクシガモ、イルカチドリ、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、カイツブリ、カワウ、カワセミ、カンムリカイツブリ、コアシサシ、コハクチョウ、セッカ、タゲリ、タババ、チュウサギ、ツクシガモ、ハヤブサ、バン、マガモ

魚介類 (0.0~0.8km)

種名	夏季	ア1産卵期	秋季	ビワマス産卵期	初春
オイカワ					
トウヨシノボリ					
カネヒラ					
ブルーギル					
ゼゼラ					
ヌマチチブ					
アユ					
ギンブナ					
ブラックバス(オオクチバス)					

総確認数で上位10種を示した

【河川水辺の国勢調査地点】

- 魚介類
- 底生動物
- 植物相
- 植生(コドラート地点)
- 鳥類
- 小動物
- 陸上昆虫類

鳥類 (0.0~1.0km)

種名	越冬	秋渡後	秋渡前	繁殖期
カイツブリ	2	11	21	4
アオサギ	1	6	11	1
アマサギ			18	
ムクドリ	3	14		
カワウ		3	1	12
ショウドウツバメ		16		
ダイサギ	1	7	4	
ヒバリ	2	6	1	1
カルガモ		5	4	
トビ	6		3	
合計種数	6	8	8	4

枠内の数値は個体数を示す
総確認数で上位10種を示した

底生動物 (1.1km)

綱名	目名	種数
マキガイ綱	イシガイ目	1
	ニナ目	4
	ハマグリ目	1
	モノアラガイ目	4
ミミズ綱	ナガミミズ目	10
	エビ目	3
昆虫綱	カゲロウ目	8
	カメシ目	4
	カワゲラ目	1
	コウチュウ目	3
	トビケラ目	4
	トンボ目	2
	ハエ目	27
	双殻綱	ウスムシ目
合計種数		73

アカアシシギ

アカツクシガモ

タゲリ

オオタカ

チュウサギ

カワセミ

野洲川小浜河川公園

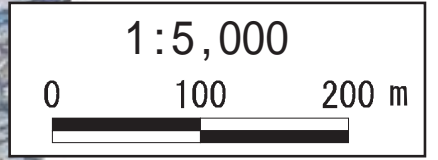
環境区分凡例(野洲川)

環境区分	主な群落等	凡例
陸域 草地	湿性草地	ツルヨシ群落、ヨシ群落、ウキヤガラ群落 等
	乾性草地	クズ群落、シバ群落、セイタカアワダチソウ群落 等
樹林	ヤナギ林	タチヤナギ群落
	落葉広葉樹林	ムクノキ・エノキ群落
	針葉樹林	ヒノキ群落、クロマツ群落
	竹林、ササ葎	マタケ・モウソウチク群落、マダケ群落
	その他低木林	マダケ群落 等
裸地 等	礫河原	-
	公園、造成地	公園、造成裸地 等
	人工構造物	人工構造物
水域	流水域	早瀬
	止水域	ワンド、たまり

魚介類 (1.8~2.8km)

種名	夏季	ア1産卵期	秋季	ビワマス産卵期	初春
ヌマチチブ					
アユ					
ブラックバス(オオクチバス)					
オイカワ					
カマツカ					
トウヨシノボリ					
ギンブナ					
カムルチー					
カネヒラ					

総確認数で上位10種を示した



野洲川河川環境情報図(区間図) - 1

カワセミ集穴

カワセミ

種名	越冬	秋渡後	秋渡前	繁殖期
カワウ	124	8	14	37
スズメ	2	16	37	29
ハシボソガラス	40			4
ショウドウツバメ		3	33	
トビ	2	20	10	4
ホオジロ	10	13	5	5
アオサギ	2	4	12	9
カワラヒワ	7	2	6	6
ツバメ		1	14	6
ケリ		19		
合計種数	7	9	8	8

枠内の数値は個体数を示す
総確認数で上位10種を示した

分類	種名	初夏	夏季	秋季	冬季
両生類	アマガエル				
	トノサマガエル				
	ウシガエル				
	シュレーゲルアオガエル				
爬虫類	カナヘビ				
	モグラ属の一種				
哺乳類	ハタネズミ				
	アカネズミ				
	カヤネズミ				
	タヌキ				
	キツネ				
	イタチ属の一種				
	合計種数		8	1	6

低水敷	高水敷	河畔林
セスジトトンボ、アオモンイトトンボ、オオハヤシメシ、カマムシ、タイコチ、セアカオサムシ、ノグサアオミムシ	ショウリョウバッタ、ハマヘアリク、ソリハリカメムシ、マルカメムシ、マメコガネ、マメメイガ	コウリカタ、ヤナギルリハムシ、モンズメバチ、コムラサキ

野洲川改修記念公園

種名	越冬	秋渡後	秋渡前	繁殖期
ホオジロ	21	2	3	8
ツバメ		30		1
カワウ		1	8	21
ヒバリ	5	4	3	10
スズメ			8	4
ゴイサギ				11
トビ	1	2	6	2
イワツバメ		10		
カワラヒワ	3			7
オオヨシキリ			1	8
合計種数	4	6	6	9

枠内の数値は個体数を示す
総確認数で上位10種を示した

種名	夏季	7月産卵期	秋季	7月産卵期	初春
トウヨシノボリ					
ヌマチチブ					
アユ					
オイカワ					
ブラックバス(オオクチバス)					
ウキゴリ					
ギンブナ					
ビワマス					
カマツカ					
ハス					

総確認数で上位10種を示した

カワウ、サギ類の集団分布地

カワウの集団分布地

【凡例】

- 直轄管理区間
- 距離標
- 流れの向き
- 護岸
- 水制工
- 横断構造物
- 樋門

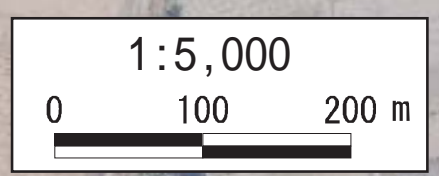
構造物種別
通(通常護岸) 親(親水護岸)
景(景観護岸) 生(生態護岸)
他(不明、その他)
堰(堰、落差工)

環境区分	主な群落等	凡例
陸域 草地	湿性草地	ツルヨシ群落、ヨシ群落、ウキヤガラ群落 等
	乾性草地	クヌ群落、シバ群落、セイタカアワダチソウ群落
陸域 樹林	ヤナギ林	クチャヤナギ群落
	落葉広葉樹林	ムクノキ-エノキ群落
	針葉樹林	ヒノキ群落、クロマツ群落
	竹林、ササ叢	マダケ-モウソウチク群落、マダケ群落
陸域 裸地等	その他低木林	メダケ群落 等
	礫河原	-
陸域 公園、造成地	公園、造成地	公園、造成裸地 等
	人工構造物	人工構造物
水域	流水域	早瀬
		淵
	止水域	ワンド、たまり

【河川水辺の国勢調査地点】

- 魚介類
- 底生動物
- 植物相
- 植生(コトランド地点)
- 鳥類
- 小動物
- 陸上昆虫類

<魚介類>	アブラハヤ、アユ、イトモロコ、ウツセミカジカ、オオタニシ、カネヒラ、ギギ、コイ、スゴモロコ、タモロコ、デメモロコ、ドンコ、ナマス、ニゴロブナ、ハス、ビワヒガイ、ビワマス、ムギツク、メダカ、モツゴ
<底生動物>	クロダカワニナ、コシダカヒメノアラガイ、ヌマエビ、マシジミ、モノアラガイ
<鳥類>	アオアシサギ、アオジ、イルカチドリ、オオヨシキリ、カイツブリ、カワウ、カワセミ、カムリカイツブリ、キアシサギ、クサシギ、コチドリ、シロチドリ、セッカ、タカブシギ、チュウサギ、チュウビ、ハイタカ
<小動物>	トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、カヤネズミ
<陸上昆虫類>	オオスズメバチ、カブトムシ、カワラバッタ、カンタン、キアシナガバチ、キリギリス、クルマバッタ、スズムシ、セグロシナガバチ、ヒメコオロギ、フタクサハムシ、マダラバエ、マルボシヒラタハナバエ、モリチャバネゴキブリ、モンズメバチ





【凡例】

- 直轄管理区間
- 距離標
- 流れの向き
- 護岸
- 水制工
- 横断構造物
- 樋門

構造物種別
 通(通常護岸) 親(親水護岸)
 景(景観護岸) 生(生態護岸)
 他(不明、その他)
 堰(堰、落差工)

環境区分凡例(野洲川)

環境区分	主な群落等	凡例
陸域	湿地	ツルヨシ群落、ヨシ群落、ウキヤガラ群落等
陸域	乾性草地	クヌギ群落、シバ群落、セイタカアワダチソウ群落
陸域	ヤナギ林	タチヤナギ群落
陸域	落葉広葉樹林	ムクノキ・エノキ群落
陸域	針葉樹林	ヒノキ群落、クロマツ群落
陸域	竹林、ササ藪	マダケ・モウソウチク群落、メダケ群落
陸域	その他低木林	メダケ群落等
裸地等	疎河原	
裸地等	公園、造成地	公園、造成裸地等
裸地等	人工構造物	人工構造物
水域	流水域	
水域	淵	
水域	止水域	ワンド、たまり

【河川水辺の国勢調査地点】

- 魚介類
- 底生動物
- 植物相
- 植生(コトラト地点)
- 鳥類
- 小動物
- 陸上昆虫類

この区間で報告されている貴重な動物 5.2~7.0km

<魚介類> アブラハヤ、アユ、イトモロコ、ウツセミカサガ、オオタニシ、カネヒラ、カワムツA型、カワヨシノボリ、ギギ、ギンブナ、コイ、コライニゴイ、スゴモロコ、ズナガニゴイ、ズナヤツメ、タモロコ、デメモロコ、ドジョウ、ドンコ、ナマス、ニコロブナ、ハス、ビワヒガイ、ビワマス、マシジミ、マツカサガイ、マルタニシ、ムギツク、メダカ、モツゴ

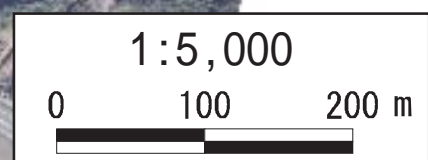
<底生動物> コシダカヒメモノアラガイ、ヌマエビ、マシジミ、モノアラガイ

<植物> カワヂシャ、カワラハハコ、タコノアシ、ツチアケビ、ヤナギヌカボ

<鳥類> アオアシシギ、イルカドリ、オオヨシキリ、カイツブリ、カワウ、カワセミ、クサシギ、コサメビタキ、セッカ、チュウサギ、ハシタカ

<小動物> トノサマガエル、シユレーゲルアオガエル

グライダー操縦訓練場



鳥類(4.8~5.8km)

種名	越冬	秋渡後	秋渡前	繁殖期
カワウ	1	109	12	12
ハシボソガラス	2	30	38	38
スズメ	6	14	13	13
ツバメ	17	6	6	6
ホオジロ	14	1	2	1
カシラダカ	15			
カワラビワ	8	3	4	4
アオサギ	3	4	7	7
ダイサギ	4	9	1	1
ツグミ	13			
合計種数	5	6	7	8

枠内の数値は個体数を示す
総確認数で上位10種を示した

カワウ、サギ類の集団分布地
カワウの集団分布地

野洲川川田河川公園

カワセミ

魚介類(4.8~5.8km)

種名	夏季	ア1産卵期	秋季	ビワマス産卵期	初春
トウヨシノボリ					
ヌマチチブ					
アユ					
オイカワ					
ブラックバス(オオクチバス)					
ウキゴリ					
ギンブナ					
ビワマス					
カマツカ					
ハス					

総確認数で上位10種を示した

鳥類(5.8~6.8km)

種名	越冬	秋渡後	秋渡前	繁殖期
カワウ	120	1	1	1
コサギ	102	18	18	18
ダイサギ	17	4	2	2
ドバト		14	14	14
ツバメ	12	12	12	12
ハシボソガラス	8	3	3	3
キジバト	1	4	1	4
スズメ	4	4	6	6
モズ	1	7	2	2
オオヨシキリ				9
合計種数	2	8	8	4

枠内の数値は個体数を示す
総確認数で上位10種を示した

魚介類(6.6~7.6km)

種名	夏季	ア1産卵期	秋季	ビワマス産卵期	初春
オイカワ					
トウヨシノボリ					
アユ					
ブラックバス(オオクチバス)					
カマツカ					
ヌマチチブ					
カネヒラ					
ビワマス					
カワムツA型					
ギンブナ					

総確認数で上位10種を示した

小動物(6.8~7.6km)

分類	種名	初夏	夏季	秋季	冬季
両生類	アマガエル				
両生類	トノサマガエル				
両生類	ウシガエル				
爬虫類	イシガメ				
爬虫類	カナヘビ				
哺乳類	モグラ属の一種				
哺乳類	アカネズミ				
哺乳類	カヤネズミ				
哺乳類	タヌキ				
哺乳類	キツネ				
哺乳類	イタチ属の一種				
合計種数		11	4	5	6